

温泉プールに新島村の未来を託す

伊豆市・天城温泉プールの視察

議員 青 沼 喜 六

今回の研修視察の目的は温泉を利用した温水プールによる新島村の活性化・再生の道を探ること。キーワードは少子高齢化社会にいかに対応するかということで、福祉・医療・教育・健康・観光等、様々な分野を射程に入れている。訪れた場所は伊豆半島中央の伊豆市。ここは平成 16 年に修善寺町、土肥町、天城湯ヶ島町と中伊豆町が合併して市となり、人口は 3 万 1 千人ほど。

私たち議員一行は 5 月 17 日朝、島しょ会館前を貸切バスに乗って出発。3 時間ほど走行して到着し、当日は市役所等を表敬訪問。「天城温水プール」は翌日訪れ、現場には 10 時半過ぎに着く。主管課の市の教育課の職員 2 名の案内で施設内へ入る。屋内プールを正面の高い位置からながめる観覧席（プールとはガラス板で遮へい）で話を伺った。

説明は現場の責任者である水野氏。風貌はいかにも元水泳選手らしいガッシリした体軀の年輩の男性。よく通る声で率直に運営状況等話していただいた。

氏は指定管理制度により受託会社から派遣され、施設の管理運営から指導まですべて行っている。もっとも実際の現場での指導は主に彼の息子が当たっているという。氏の話ではなぜか息子さんの方が教え方うまいようで、みなさんの上達が早いと言っていた。そのときには 13 名の中高年の女性たちがプールの中で指導に従って歩いたり体操のようなことをしていた。



施設の概要は 6 コース、25 m の競泳用プール、他に小プールと採暖浴場がある。周辺はガラス張りで天井が高く比較的明るい、放射熱がひどく冬は暖房を焚かないとやっていけないという。41℃源泉を川向うから汲み上げ温水タンクに貯蔵し



左側の通路奥の下ったところに温泉プールがある。

た後、31.5℃にしてプールに送水する。冬場はこの温度を確保するのが難しく、追い焚きをして調整している。

この施設は昭和 53 年に開館し、40 年近く経ち老朽化が進み、近くに同様の温水プール（こちらは温泉利用ではない。合併によってプールが増えた）があることから平成 30 年末に閉館とのこと。

利用状況は年間 1 万 4 千人（料金一般 300 円、子供 150 円）で、ほとんど教室利用者などの会員で現在、大人 115 人、子供 50 人が入会している。利用時間は朝 10 時から夜 6 時まで。これは人件費を圧縮するため交代なしで丸 1 日勤務できるようにしている。

経営に関しては市から 2 カ所のプールで 3 千 4 百万円の委託料を受けるが、中々厳しく利用者の開拓で何とかしのいでいる。こういったことから光熱水費にも細心の注意を払い、電気の使用量が増える



観覧席にてまず最初に市の担当者から説明。

としょっちゅう照明を消しまくっているという。

温泉施設の修繕では硫黄やミネラル分や塩分が少ない泉質なのであまり付着などのトラブルはない。ただしポンプ（400 万円）は 10 年に一度

定期的に交換している。

以上のことから新島村にも同様な温泉を利用したプール施設の実現性を探ってみた。確かに財源等には厳しいものがある。しかしトータルとしてのコスト面から考えてみる必要があるのではないか。健康増進では医療費や保険料の削減につながるし、何よりも高齢者の生きがい対策になる。現にプールでの運動を終えて帰り支度をしているお年寄りに伺ったところ、元気いっぱい、病気一つしていないという。

また小・中学生でオリンピック候補者になるような有望な子供も育っているということだから、これこそ夢の持てる確かな存在感のある地域社会に飛躍できる可能性を秘めている。もちろん観光面からも大いに貢献できるものと確信する。

東京都町村議会議員講演報告

議員 木村諭史

5月16日、年に1回の議員研修として、東京都町村議会議員講演会『小さな町と企業を活性化する「競わない地方創生」』に議員一同参加。

●講師が複数の視点から体験した地方創生を解説

講師の久繁 哲之介（ひさしげ てつのすけ）氏は、『地域再生の罨』や『商店街再生の罨』などの著書で知られています。IBM、自治体のアドバイザー、実家の飲食店など、いくつもの経歴をお持ちです。

●地方創生は『量より質』、『価格競争よりも共感』

『量を追うと低価格と効率の競争になり、強者＝大都市・大企業だけが勝つ』ことを学びました。観光地としての新島村としては、大量生産・薄利多売の戦略ではなく、その土地の魅力・作る人・売る人・買う人とのつながりから生まれる、共感や物語を軸に戦略を組み立てるのが望ましいと理解できました。

●地域の中でお金が回そう！

都市型の『効率まちづくり』では、チェーン店が全国から安い物を仕入れて低価格で販売するような戦略になるため、地域経済循環率が13%と低くなっています。一方で質を重視した『日本版スローシティ』ともいえる戦